

戦略的情報通信研究開発推進制度「地域情報通信技術振興型研究開発」(SCOPE-C)のスタート

総務省は、4月17日、戦略的情報通信研究開発推進制度 (SCOPE※) の提案課題について、評価委員会の評価を踏まえ平成18年度採択課題を決定しました。

このうち、地域における情報通信技術振興や地域社会の活性化等に貢献する中小・中堅企業と大学等との共同研究を推進する「地域情報通信技術振興型研究開発」(SCOPE-C)については、より地域性を反映させるため各地方総合通信局ごとに設置された地域分科会において総合評価を行ったものです。

※SCOPE:Strategic Information and Communications R&D Promotion Programme

●採択結果通知書交付の様様



(右) イーラムダネット株式会社代表取締役社長 菅田孝之氏

●SCOPE-C採択課題の概要

研究機関名	研究概要
イーラムダネット(株)	光ハブ装置、光ネットワークインターフェースカード、制御ソフト等を試作開発し、光波長多重技術及び分散同期制御方式を用いて、地域で利用可能な経済的で超高速大容量の光リンクで接続するLANの研究開発を行う。



お問い合わせ先:情報通信部情報通信連携推進課 03-5220-5416

関東ICT推進NPO連絡協議会平成18年度総会記念セミナーを開催

関東総合通信局は、5月19日、世界貿易センタービル(東京都港区)において、関東ICT推進NPO連絡協議会及び関東情報通信協力会と共催で総会記念セミナーを開催しました。

当日は、NPO法人や自治体関係者など約100名が参加する中、「地域の絆は!地域のメディアから!」をテーマに、津田正夫氏(立命館大学産業社会学部産業社会学科教授)から「メディアアクセスと地域活性化」と題した基調講演を受けました。

その後、地域の団体や住民が地域のメディアを有効に活用して情報を積極的に発信し地域の活性化に繋げている事例等を紹介しました。

参加者の中には地域の活性化に取り組む関係者も多く、熱心に耳を傾けていました。

●会場の模様



●講演中の津田正夫氏



お問い合わせ先:情報通信部情報通信連携推進課 03-5220-5416